

# 環境経営レポート

(対象期間：2021年11月1日～2022年10月31日)

発行日 2023年 3月 24日



当社は2020年11月1日に環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは当社の事業年度に合わせ、11月1日から10月31日までをひとつの区切りとしています。

この「環境経営レポート」は、環境マネジメントシステムを立ち上げてから2年目となる2021年11月1日からの1年間を対象にまとめました。

長野県松本市和田5511-11

株式会社 **デリカ**

## 有機農業と、未来へ

株式会社デリカは有機農業を応援する作業機を中心に開発し、市場に提供することを通じて、食・農産業の発展、有機農業の応援、品質向上、環境配慮、また農業の効率化、省力化を推進しSDGsに貢献します。

2 飢餓を  
ゼロに



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



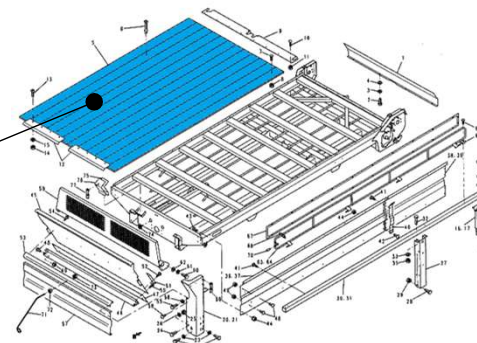
マニアスプレッダなど有機農業支援機器の提供により、生産性の向上，化学肥料の使用機会の削減による生態系へのリスク軽減，有機肥料の使用機会を増加することで土壌の質の改善に寄与します。



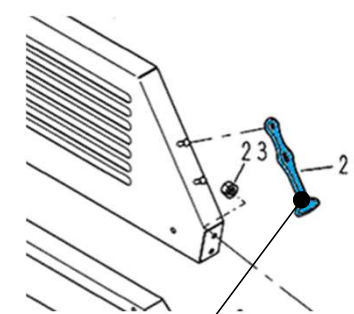
(自走マニアスプレッダDAM-354)

製品の一部材質に再生素材を取り入れ、資源利用効率の向上，廃棄物の削減に貢献します。

PP再生材



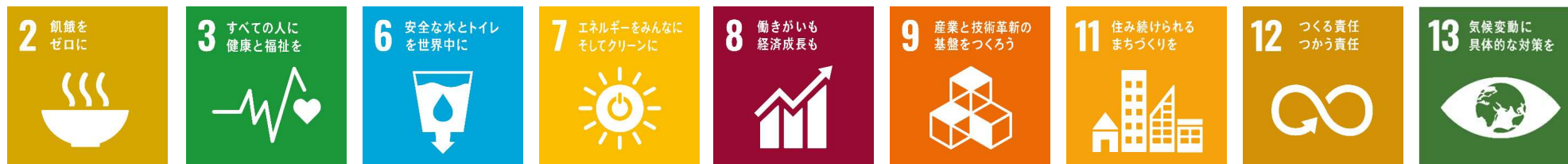
再生ゴム



(マニアスプレッダDXシリーズなど)

# 有機農業と、未来へ

株式会社デリカは国の進める「みどりの食糧システム戦略」に沿った活動を推進しSDGsに貢献します  
(参照 [みどりの食料システム戦略トップページ：農林水産省 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp/))



・農地の炭素貯留-バイオ炭の農地施用の支援機器の研究開発  
バイオ炭と呼ばれる有機物を原料とした固形炭化物を農地施用することで、炭素貯留効果が得られ温室効果ガスの削減交換があるとされています。また、同時に土壌の透水性・保水性・通気性改善など土壌改良効果があるとされています。デリカではバイオ炭を効果的に散布する散布機の研究開発を推進しています。

・混合堆肥複合肥料の散布機の研究開発  
混合堆肥複合肥料は地域慣行の化学肥料の代替とともに土づくりにも補完的な役割を果たすとされています。デリカでは混合堆肥複合肥料をより効率的に散布できる散布機の研究開発を行っています。

・バイオ液肥散布機DAV-2500  
家畜排せつ物、食品廃棄物等を発酵処理する際の副産物である消化液をバイオ液肥として有効利用するための散布機を開発、販売しています



(自走液肥散布機DAV-2500)

## 1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

○事業所名 : 株式会社デリカ

○所在地 : 390-1242長野県松本市和田5511-11

○事業活動の内容

- ・農業用作業機械（インプル）の製造，販売
- ・トラクタ部品の製造
- ・大型洗車機部品の製造

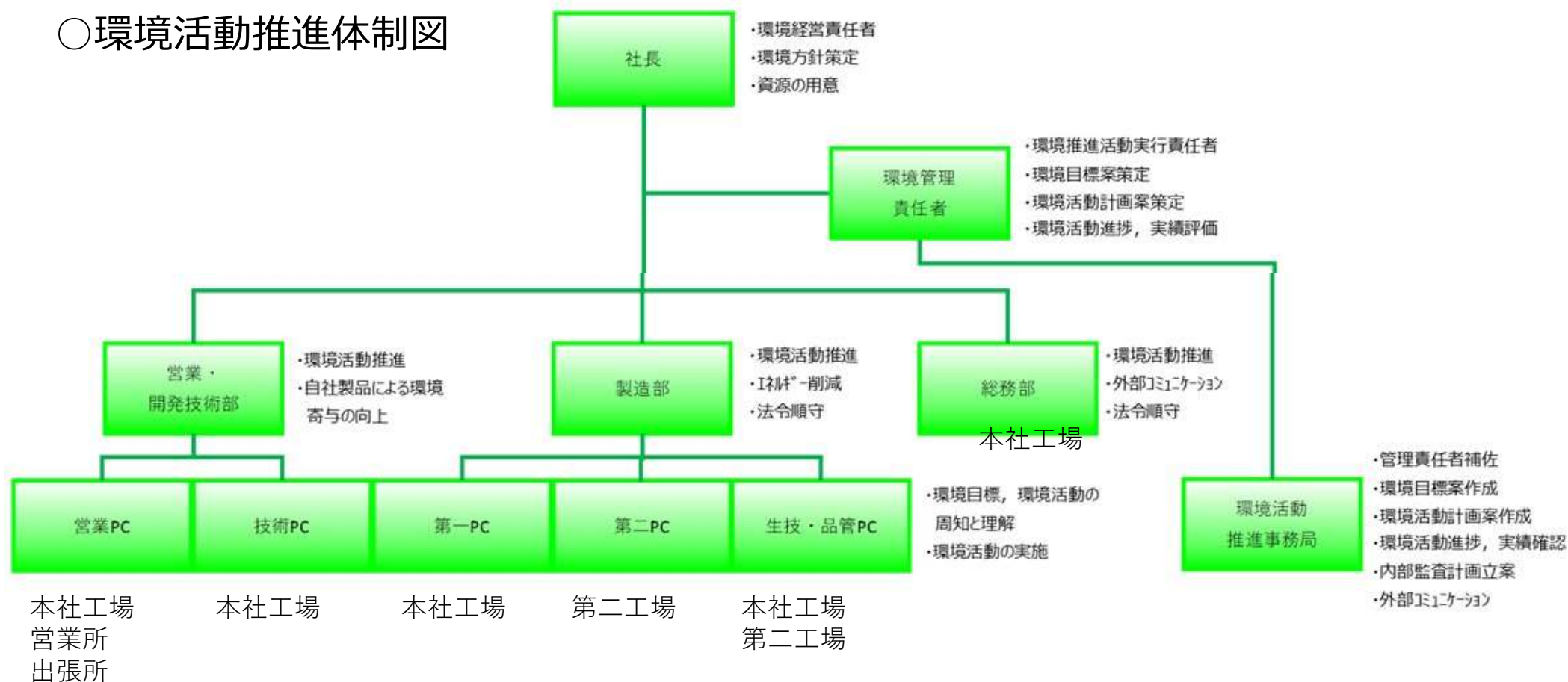
○事業規模

- ・資本金 : 95,000千円
- ・従業員数 : 158人
- ・生産拠点 : 本社工場(松本市)，第二工場(松本市)
- ・営業所 : 岡山営業所(津山市)，栃木営業所(栃木市)，熊本営業所(熊本市)，秋田出張所(秋田市)，宮城出張所(大崎市)

○対象範囲（認証・登録範囲）

全組織における活動を対象としています

○環境活動推進体制図



| 担当          | 所属           | 氏名    | 連絡先          |
|-------------|--------------|-------|--------------|
| 環境管理責任者     | 取締役製造部長      | 山口 義雄 | 0263-48-1181 |
| 環境活動推進事務局担当 | 製造部 品管・生技G課長 | 小松 享彦 | 0263-48-1181 |

## 2. 環境経営方針

地球環境の保全・汚染の予防が世界共通の最重要課題であることを深く認識し、有機農業を応援・推進する活動を通じて、可能な限り地球環境の維持・向上に全員参加で努めてまいります。具体的には次のことを実施します。

- 1.製品の開発・設計・製造・販売において、省資源・省エネルギーを推進し、廃棄物の削減に努めます。
- 2.人類の安全・安心と地球環境のために、循環型有機農業を応援する作業機の提供を行うとともに、農業従事者の省力化を通して環境経営を実践します。
- 3.環境に関わる法規制、その他の要求事項を遵守します。
- 4.継続的に改善し、環境の保全・汚染の予防に努めます。
- 5.SDGsの達成に向け、事業を通じて世界共通の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。



6.本方針はエコアクション21により実施し、全従業員に周知徹底します。

2020年11月1日  
株式会社デリカ  
代表取締役社長 金子孝彦

### 3. 環境経営目標及び環境活動計画とその達成状況

#### ○環境経営目標

当社事業年度の69期を基準年として次の環境経営目標を設定しました。

| 環境指標(単位)                        | 基準年実績<br>(69期) | 目標値 ※()内比率は基準年比較 |              |              |
|---------------------------------|----------------|------------------|--------------|--------------|
|                                 |                | 70期              | 71期          | 72期          |
| CO2排出量(t-CO2)                   | 1,327.4        | 1,314.2(-1%)     | 1,300.9(-2%) | 1,287.6(-3%) |
| 電力(MWh)                         | 1,559          | 1,543(-1%)       | 1,528(-2%)   | 1,512(-3%)   |
| LPG使用量(m3)                      | 66,316         | 65,653(-1%)      | 64,990(-2%)  | 64,327(-3%)  |
| 軽油使用量(L)                        | 43,475         | 43,040(-1%)      | 42,606(-2%)  | 42,170(-3%)  |
| ガソリン使用量(L)                      | 27,758         | 27,480(-1%)      | 27,203(-2%)  | 26,925(-3%)  |
| 灯油使用量(L)                        | 3,477          | 3,442(-1%)       | 3,407(-2%)   | 3,373(-3%)   |
| 産業廃棄物(kg)                       | 96,994         | 96,024(-1%)      | 95,054(-2%)  | 94,084(-3%)  |
| 一般廃棄物(kg)                       | 11,224         | 11,112(-1%)      | 11,000(-2%)  | 10,887(-3%)  |
| 水使用量(m3)                        | 4,929          | 4,880(-1%)       | 4,830(-2%)   | 4,781(-3%)   |
| 循環型有機農業<br>支援機器拡販<br>(販売計画達成率%) | 100%           | 100%             | 100%         | 100%         |
| PRTR化学物質使用<br>量定期監視(1回/年)       | 定期監視1回         | 定期監視1回           | 定期監視1回       | 定期監視1回       |
| 法令順守率(%)                        | 100%           | 100%             | 100%         | 100%         |
| EMSの構築・維持                       | EA21認証         | 認証維持             | 認証維持         | 認証維持         |

## ○環境活動計画と取組の結果

環境活動について期の主要方針を定め、部門毎に取り組みました

○:できた, △:一部課題あり, ×:できなかった

| 主要方針                                                      | 担当部門  | 取組内容                          | 評価 |               |
|-----------------------------------------------------------|-------|-------------------------------|----|---------------|
| 環境関連法規制、その他の要求事項<br>100%遵守のための計画立案と実施                     | 総務    | 担当する環境関連法規制遵守状況の定期確認          | ○  |               |
|                                                           | 開発技術  | オフロード法適合性の確認                  | ○  |               |
|                                                           | 第1PC  | 環境関連法令, 要求事項チェックシートで確認        | ○  |               |
|                                                           | 第2PC  | 環境関連法令, 要求事項チェックシートで確認        | ○  |               |
|                                                           | 生技・品管 | 設備の法定点検の実施計画を確実に実施            | ○  |               |
| 廃棄物の削減、エネルギーの削減、<br>資源の節約に努める                             | 総務    | ゴミの分別、リサイクル、節電、節水、コピー用紙削減     | ○  |               |
|                                                           | 総務    | エネルギー、資源の使用状況の定期確認とデータ作成      | ○  |               |
|                                                           | 第1PC  | 溶接不良手直し時間削減                   | ×  | 新機種(生産移管)で不良増 |
|                                                           | 第1PC  | 組立工程のムダ削減。水すまし適用拡大・作業要領書整備    | ○  |               |
|                                                           | 第1PC  | 塗装不良手直し時間削減                   | ○  |               |
|                                                           | 第2PC  | コピー用紙の使用枚数削減                  | ○  |               |
|                                                           | 生技・品管 | 製造Gの生産効率改善と不良削減を支援            | ○  |               |
| 「みどりの食糧システム戦略」に沿った<br>活動の推進でSDGsに貢献する                     | 開発技術  | 混合堆肥などに対応する散布機の製品開発           | ○  |               |
|                                                           | 開発技術  | 有機農業、混合堆肥複合肥料の専門知識の習得         | ○  |               |
| 製品モデルチェンジと新製品開発で省<br>エネ化, 農作業省力化, 有機農業支援<br>に貢献する         | 開発技術  | 自走マニアスプレッタのシリーズモデルチェンジと収穫機の開発 | ○  |               |
| 新規市場開拓と戦略的営業展開で農<br>作業の省力化・有機農業の支援に貢献<br>顧客満足度を高める環境活動の推進 | 営業    | 新規開拓含め国の事業に沿った戦略的営業活動の実施      | ○  |               |
|                                                           | 営業    | 顧客満足と省力化のための製品改良要望・新製品提案      | △  | 提案件数25件/目標27件 |
|                                                           | 第2PC  | クボタ様グリーンサプライヤー表彰制度に参加         | ○  |               |
| IoTを活用して生産性を高める活動に<br>より省エネ・省人力化を推進する                     | 生技・品管 | 高精度計測システム導入により品質向上と作業効率改善     | ○  |               |
|                                                           | 第2PC  | 機械設備の稼働率改善                    | ○  |               |
| 更なるIT化で業務改善を実施すること<br>で省エネ・省人力化を推進する                      | 総務    | IT化による業務効率改善を検討、実施し省人化を図る     | ○  |               |

## ○環境経営目標の達成状況

| 環境指標(単位)                        | 基準年実績<br>(69期) | 70期実績 ※()内比率は基準年比較 |                                      |    |
|---------------------------------|----------------|--------------------|--------------------------------------|----|
|                                 |                | 目標                 | 結果                                   | 判定 |
| CO2排出量(t-CO2)                   | 1,327.4        | 1,314.2(-1%)       | 1,375.1(+3.8%)                       | ×  |
| 電力(MWh)                         | 1,559          | 1,543(-1%)         | 1,664(+6.7%)                         | ×  |
| LPG使用量(m3)                      | 66,316         | 65,653(-1%)        | 67,928(+2.4%)                        | ×  |
| 軽油使用量(L)                        | 43,475         | 43,040(-1%)        | 40,315(-7.3%)                        | ○  |
| ガソリン使用量(L)                      | 27,758         | 27,480(-1%)        | 26,140(-5.8%)                        | ○  |
| 灯油使用量(L)                        | 3,477          | 3,442(-1%)         | 4,160(+19.6%)                        | ×  |
| 産業廃棄物(kg)                       | 96,994         | 96,024(-1%)        | 103,099(+6.3%)<br>{93,269(-3.8%)} ※1 | ×  |
| 一般廃棄物(kg)                       | 11,224         | 11,112(-1%)        | 9,312(-17.0%)                        | ○  |
| 水使用量(m3)                        | 4,929          | 4,880(-1%)         | 4,944(+0.3%)                         | ×  |
| 循環型有機農業<br>支援機器拡販<br>(販売計画達成率%) | 100%           | 100%               | 92.9%                                | ×  |
| PRTR化学物質使用<br>量定期監視(1回/年)       | 定期監視1回         | 定期監視1回             | 年間使用量1t<br>超えた物質なし                   | ○  |
| 法令順守率(%)                        | 100%           | 100%               | 100%                                 | ○  |
| EMSの構築・維持                       | EA21認証         | 認証維持               | 認証維持                                 | ○  |

電力のCO<sub>2</sub>排出係数

- ・本社工場・第二工場 : 0.452kg-CO<sub>2</sub>/kWh(中部電力株)・調整後・2018年度)
- ・岡山営業所 : 0.585kg-CO<sub>2</sub>/kWh(中国電力株)・調整後・2019年度)
- ・熊本営業所 : 0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力株)・調整後・2019年度)

※1: 産業廃棄物の{ }内の数値は、非定常分を除いた数値。詳細は次頁参照

## ○環境経営目標達成状況の評価

- (1)CO<sub>2</sub>排出量は基準年比+3.8%で、目標-1%未達となった。電力量の増加(基準年比+6.7%)が大きな要因になっている。  
第二工場の電力の使用状況の分析から、気温と電力に相関があり冬場に電力が増えていることが判った。暖房の効率見直しで電力を削減しCO<sub>2</sub>排出量も削減できる可能性がある。
- (2)廃棄物は産業廃棄物が基準年+6.3%と未達となった。一般廃棄物は基準年-17%と大きく減少している。  
産業廃棄物のうち、70期は製造設備の更新に伴う突発の廃棄物が9,860kgあった。この突発分を除くと基準年比-3.8%で、定常で排出される産業廃棄物の量は減少傾向といえる。
- (3)水の使用量は基準年+0.3%でほぼ基準年と同等。製造設備の冷却に使用している工業用水の削減を検討したい。
- (4)循環型有機農業支援機器(自社インプル製品)拡販は、販売計画達成率92.9%となり目標未達。  
コロナ禍による部品の調達難、また前年度の補助金事業による受注増の反動減があった。
- (5)化学物質の使用状況、また法令順守率については、エコアクション21の活動を通じて現状の見える化ができ、確実に遵守されていることが確認できた。

## 4. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無

当社の事業活動に関連する主な環境関連法規等は下記のとおりです。

2023年2月2日、遵守状況の確認を行い、下記の通り違反はありません。

過去3年間に関係当局からの違反等の指摘および利害関係者からの訴訟はありません。

| 関連法          | 対象工程・施設                         | 要求事項                 | 要求事項                                                 | 担当部門          | 評価結果   |
|--------------|---------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------|---------------|--------|
| 水濁法/<br>下水道法 | 酸・アルカリ<br>洗浄槽                   | 特定施設届出               | 特定施設の届出内容に変更がないか                                     | 塗装排水責任者       | ○      |
|              |                                 | 定期検査                 | 市の立ち入り検査(水質検査)結果に問題なかったか                             | 塗装排水責任者       | ○      |
|              |                                 | 事故報告                 | 市への報告が必要な事故(漏出など)がなかったか                              | 塗装排水責任者       | ○      |
|              |                                 | 事故防止                 | 設備の定期点検が実施されているか                                     | 1PC           | ○      |
| 化管法          | 特定化学物質<br>を含む購入品                | 第1種化学物質<br>1t/年使用時届出 | 年間の化学物質使用量(購入量)が1tを超えてないか<br>新規に導入した化学物質は使用量を把握しているか | 事務局<br>事務局    | ○<br>○ |
|              |                                 | 紛失・盗難防止              | 保管庫はカギをかけているか                                        | 1PC           | ○      |
| 毒劇法          | 塩化水素、<br>硫酸、<br>パルボンド           | 飛散、流出防止、<br>地下浸透防止   | 密閉容器で確実に保管されているか。容器に劣化、<br>破損はないか                    | 1PC           | ○      |
|              |                                 | 「医薬用外」「毒物」<br>「劇物」表示 | 保管場所に「医薬用外」「毒物」「劇物」の表示がされているか                        | 1PC           | ○      |
|              |                                 |                      |                                                      |               |        |
| 消防法          | 灯油・軽油                           | 少量危険物貯蔵所届出           | 危険物貯蔵所の届出内容に変更がないか                                   | 防火管理者         | ○      |
|              |                                 | 転倒、漏洩、飛散防止           | 転倒、漏洩、飛散防止がされているか                                    | 防火管理者         | ○      |
|              | ガソリン                            | 少量危険物<br>貯蔵所         | 規制量40Lを超えて保管していないか(本社)<br>規制量40Lを超えて保管していないか(営業倉庫)   | 1PC<br>営業     | ○<br>○ |
|              |                                 | 少量危険物<br>貯蔵所         | 規制量500Lを超えて保管していないか(本社)<br>規制量500Lを超えて保管していないか(第二)   | 1PC<br>2PC    | ○<br>○ |
|              | 三石<br>(切削油等)                    | 少量危険物<br>貯蔵所         | 規制量1200Lを超えて保管していないか(本社)<br>規制量1200Lを超えて保管していないか(第二) | 1PC<br>2PC    | ○<br>○ |
|              |                                 | 少量危険物<br>貯蔵所         |                                                      |               |        |
|              | 四石<br>(切削油等)                    | 少量危険物<br>貯蔵所         |                                                      |               |        |
|              |                                 | 少量危険物<br>貯蔵所         |                                                      |               |        |
| 廃棄物<br>処理法   | 産業廃棄物                           | マニフェストの回収            | マニフェストが期限内に回収されているか                                  | 生技            | ○      |
|              |                                 | マニフェスト管理表届出          | マニフェスト交付状況を県に提出しているか                                 | 生技            | ○      |
|              |                                 | 流出、漏洩防止              | 廃棄物保管場所で油の漏洩、流出がないか(本社)<br>廃棄物保管場所で油の漏洩、流出がないか(第二)   | 1PC<br>2PC    | ○<br>○ |
|              |                                 | 最終処分確認               | 廃棄物収集・運搬・処分業者の実地見学(努力義務)                             | 公害防止責任者       | ○      |
|              |                                 | 収集・運搬・処分業者           | 自治体の認定業者に依頼しているか                                     | 公害防止責任者       | ○      |
| 家電<br>リサイクル法 | テレビ・エアコン・<br>冷蔵庫                | リサイクル料金<br>(廃棄時)     | テレビ、エアコン(家庭用)、冷蔵庫の廃棄がなかつ<br>たか。あればリサイクル料金は支払ったか      | 各部門           | ○      |
| フロン排出<br>抑制法 | 事務所エアコン<br>第二工場エアコン<br>FOレーザチラー | 法定点検                 | 簡易点検(自主点検)4回/年以上<br>定期点検(有資格者点検)1回/年以上               | 総務<br>総務      | ○<br>○ |
|              |                                 | 法定点検                 | 簡易点検(法定点検)4回/年以上<br>有資格者点検(法定点検)1回/年以上               | 1PC<br>1PC・生技 | ○<br>○ |
|              |                                 | 簡易点検(自主点検)           | 簡易点検(法定点検)4回/年以上                                     | 1PC           | ○      |
|              |                                 | 法定点検                 | 簡易点検(法定点検)4回/年以上(本社)<br>簡易点検(法定点検)4回/年以上(第二)         | 1PC<br>2PC    | ○<br>○ |
|              | Regレーザチラー                       | 簡易点検(自主点検)           | 簡易点検(法定点検)4回/年以上                                     | 1PC           | ○      |
|              | エアコンプレッサー<br>スポットクーラー           | 法定点検                 | 簡易点検(法定点検)4回/年以上(本社)<br>簡易点検(法定点検)4回/年以上(第二)         | 1PC<br>2PC    | ○<br>○ |
| オフロード法       | 型式届け出機種                         | 型式届け                 | 届出内容に変更がないか<br>法令対象範囲、基準等に変更がないか                     | 開発技術<br>開発技術  | ○<br>○ |
|              |                                 |                      |                                                      |               |        |
|              | DAM-253/354                     | 検査記録                 | 法令要求の全数検査記録保管(5年以上)                                  | 品管            | ○      |

## 5. 代表者による全体の評価と見直し、指示（マネジメントレビュー）

### ＜全体の評価＞

当期は、環境活動を部門単位に展開するとともに、全社員に対して脱炭素社会への理解、SDG s の重要性など、意識づけのための周知活動を展開して参りました。

全般的には、環境経営方針及びEMS課題推進計画に基づいた具体的な取組みが着実に遂行されており、環境経営と事業活動が有機的に連携された活動として定着化が図られかつ、運用も適切であることから有効性ありと評価します。

CO2削減については、当初計画の基準年に工場を建設して2工場体制となったことにより、排出量などが従来と比べて大きく変化しました。このことから、新工場稼働後を基準年に目標値を再設定して活動を展開して参りましたが、業績拡大及び、大型設備投資などの要因により未達となりました。内容をしっかり検証して今後の推進に繋げて下さい。

次に、循環型有機農業を支援することで地球環境と、食の安全・安心を推進する取組については、計画を達成しましたので有効性ありと評価します。今後もスローガンである「有機農業と、未来へ。」を念頭に有機農業取組面積を増加させるべく活動を展開して下さい。

### ＜見直し・指示＞

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ◇環境方針       | ： 変更の必要なし |
| ◇環境目標及び活動計画 | ： 変更の必要なし |
| ◇実施体制       | ： 変更の必要なし |

2023年2月14日  
代表取締役社長  
金子孝彦

## 6. 次年度の取り組み

目標達成に向け、部門毎に環境活動計画を策定し推進します。

| 主要方針                                                 | 担当部門  | 取組内容                        |
|------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|
| ・環境関連法規制、その他の要求事項<br>100%遵守のための計画立案と実施               | 開発技術  | オフロード法適合性の確認, 法令最新版調査       |
|                                                      | 1PC   | 環境関連法令のチェックシート作成、運用         |
|                                                      | 2PC   | 環境関連法令および要求事項の遵守状況定期チェック    |
|                                                      | 品管・生技 | 設備の法定点検の実施計画立案と実施           |
|                                                      | 総務    | 担当する環境関連法規制遵守状況の定期確認        |
| ・廃棄物の削減、エネルギーの削減、<br>資源の節約に努める                       | 2PC   | コピー用紙の使用枚数削減-3.5%           |
|                                                      | 1PC   | 溶接工程内不良手直し時間削減              |
|                                                      | 1PC   | 自走マニアスプレッタ組立効率改善            |
|                                                      | 1PC   | 塗装不良手直し時間削減                 |
|                                                      | 総務    | ゴミの分別・リサイクル、節電・節水、コピー用紙削減   |
| ・「みどりの食糧システム戦略」に沿った<br>活動の推進でSDGsに貢献する               | 営業    | みどり投資促進税制の対象品リストに登録申請       |
|                                                      | 開発技術  | 混合堆肥等に対応する散布機の研究開発          |
| ・製品モデルチェンジと新製品開発で省<br>エネ化, 農作業省力化, 有機農業支援<br>に貢献する   | 開発技術  | 自走マニアスプレッタのシリーズモデルチェンジ      |
|                                                      | 開発技術  | 有機農業、混合堆肥複合肥料の専門知識の習得       |
| ・新規市場開拓と戦略的営業展開で農<br>作業の省力化・有機農業の支援に貢献               | 営業    | 実演・同行営業の推進、展示会・製品研修の実施      |
|                                                      | 営業    | 製品改良要望書, 製品企画検討書の提案促進       |
| ・顧客満足度を高める環境活動の推進                                    | 2PC   | 顧客要求に対応した環境活動の展開            |
| ・IoTを活用して生産性を高める活動に<br>より省エネ・省人力化を推進する               | 2PC   | 機械設備の稼働率改善                  |
| ・更なるIT化で業務改善を実施すること<br>で省エネ・省人力化を推進する                | 総務    | 給与システム更新による運用業務効率化          |
| ・顧客満足度を高めながら生産量を増加<br>させる取組で省資源、省エネ、廃棄物削<br>減を推進する   | 品管・生技 | インプル出荷検査の品質情報見える化とフィードバック推進 |
|                                                      | 品管・生技 | 3P検査の品質情報見える化とフィードバック推進     |
| ・新規事業の量産化に向けた活動を展<br>開し循環型有機農業の拡大や農業従事<br>者の省力化に貢献する | 1PC   | タイデリカ新規事業製品の量産安定化支援         |
|                                                      | 品管・生技 | タイデリカ新規事業製品の量産性向上、品質安定化支援   |
| ・事務所棟の照明をLED化することで、省<br>エネを推進する                      | 総務    | 本社事務所棟の照明LED化               |

## 7. 環境活動への取り組み事例の紹介

(1) 環境への取り組みを全社員に周知、啓発するためにステッカーを作成し、社内のごみ箱や照明スイッチ、社用車等に掲示しています。



(2) 環境に関する特定業務の教育資料を作成し、対象従事者に回覧して教育を行っています。教育資料は特に「シンプルなこと」「判りやすいこと」に重点を置き、対象従事者の教育受講の負担を最大限に減らしました。

(3) 「改善提案」制度を永年にわたり実施しています。  
(社内制度制定：昭和56年)  
全社員から、日頃の業務の中で気付いた改善・問題点の提案を募集し、生産効率の向上・品質向上・不良の削減に取り組み、省エネや廃棄物削減につなげています。2021年度 改善提案実績175件

